

グローバル人材育成コミュニティの形成に向けて

現状・課題

- 海外拠点を持つ企業の7割以上※によって、グローバル化を推進する国内人材の確保・育成は大きな課題
(※ 出典：経済産業省「グローバル人材育成に関するアンケート調査」(2010年3月))
- 諸外国が海外留学生数を伸ばす中、日本人の海外留学生数は2004年以降減少傾向 2004年から2010年で24,885人減少(約▲30%)

目標

日本人留学生倍増	
2010	2020
大学生等 6万人	→ 12万人
高校生 3万人	→ 6万人

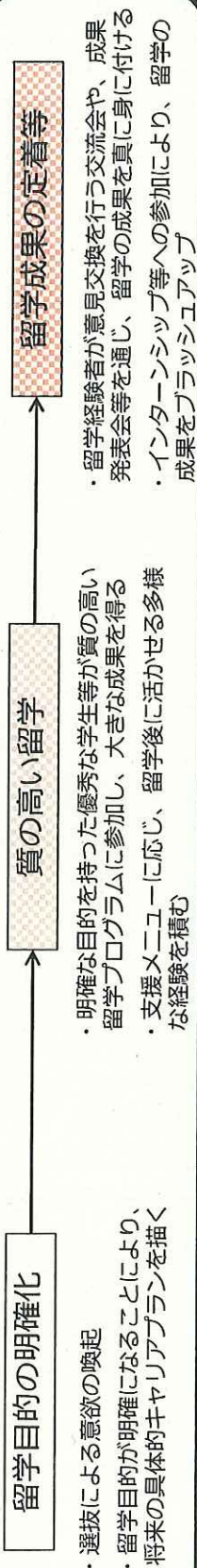
目指すべき姿

- 質の高い海外経験とグローバルな人的ネットワークを有する多くの人材が、大学等を卒業後に様々な分野で活躍
- 国連等の国際機関の中核で活躍する日本人の増加により、世界的な我が国のプレゼンス・影響力が向上

国(日本学生支援機構)、民間、大学が丸となって我が国のグローバル人材を育成

- 国(日本学生支援機構)、連携企業、大学等が協働で選考・研修等を実施 ● 経済的な支援だけでなく、学生等の成長が見える新たな取り組み
- SNSによる本事業参加学生等のコミュニティを創設し、国(日本学生支援機構)、連携企業、大学等がそれを活用

学生等の成長プロセス



選抜

成績優秀者だけでなく、高い意欲と強い意欲がある学生等を選抜

- 成績要件の設定
- 明確な留学計画、指導教員等による推薦状、面接による選考

事前研修

行っただけに終わらない留学目的の明確化

- 留学希望学生等を対象に、例えばグローバル事業の現状や企業が直面している課題などをテーマに企業若手社員によるワークショップ等を実施。これによる留学目的の明確化と意欲向上をねらう

講師派遣
研修プログラムの策定 等

留学時の奨学金支給

国費及び民間資金により学生等に奨学金を支給。民間視点での支援メニューにより、多様な学生等を支援。

【国費による支援】

平成26年度概算要求額	1	5	3億円
大学生等	10,200人	→	32,500人
高校生	300人	→	3,600人
・ 奨学金による支援			
・ 留学プログラムの評価 等			

民間視点での支援メニューの実施

事後研修等

留学を真に血肉とするために欠かせないフォローアップを実施

- 留学終了者によるSNSコミュニティ等を創設し、留学目的の実現に向けた取組の継続
- 連携企業が実施する長期インターンシップへの参加

講師派遣
インターンシップ
機会の提供 等

連携企業の役割等

企業ニーズに沿った優秀な学生等を選抜するため(希望に応じ)選考への参加

若手社員を講師として派遣。社内の若手社員研修として活用すること
で研鑽の場にも

民間資金を活用した支援メニューの提供

- 【支援メニュー(案)】
- グローバル企業で活躍したいトップ層の学生等を支援する奨学金
 - 地域のグローバル化に貢献する企業で活躍したい学生等を支援する奨学金
 - 18歳頃の早期の留学を支援する奨学金

若手社員を講師として派遣。社内の若手社員研修として活用すること
で研鑽の場にも

グローバル人材となって実社会へ！

留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」の開始について

1. 趣旨

少子化が進行し、社会や経済が急速にグローバル化している我が国において、一人ひとりの能力を高め、世界で活躍できる人材を育成することが喫緊の課題である。このため、本年6月にまとめられた「日本再興戦略」等において、日本人の海外留学を2020年までに倍増することを目標に政府としても取組を強化することが盛り込まれた。

文部科学省としては、この目標の実現のため、日本人の海外留学の減少傾向に歯止めをかけ、増加させるべく、留学経費の負担軽減や大学や高校等の体制整備、外国語教育の強化といった具体的な阻害要因を除去する施策を推進するとともに、より多くの若者が海外留学への関心を高め、これらの施策の効果を一層高めるため、10月29日から留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」を展開することとした。

本キャンペーンにおいては、留学の魅力や方法等についてイベントやプロジェクト用の特設サイト等を通じて情報提供し、留学への若者や親の理解を促進し、若者が海外留学しやすい環境を整備する。

2. イベント等の開催

(1) イベント

◎10月29日 ロゴ・キャッチフレーズ発表（文部科学省）

ゲスト：倉木麻衣（シンガー） 仲川遥香（JKT48 専任） 宮澤佐江（SNH48 専任）
森 理世（ミスユニバース 2007）

◎11月 4日 TAKE OFF イベント（羽田空港）

ゲスト：檜田松瑩（日本貿易会会長・三井物産会長）、太田雄貴（フェンシング選手）
佐藤真海（陸上・走り幅跳び選手）、滝川クリステル（フリーアナウンサー）、
野口聡一（JAXA 宇宙飛行士）

◎12月15日 グローバル人材 EXPO との共同イベント（早稲田大学）

※この他、1～3月の間で複数回イベント実施予定

(2) 特設サイト等

◎ 留学キャンペーン特設ウェブサイト開設 (<http://www.mext.go.jp/ryugaku/>)

11月：賛同人メッセージ、留学体験談、留学までのロードマップを公開

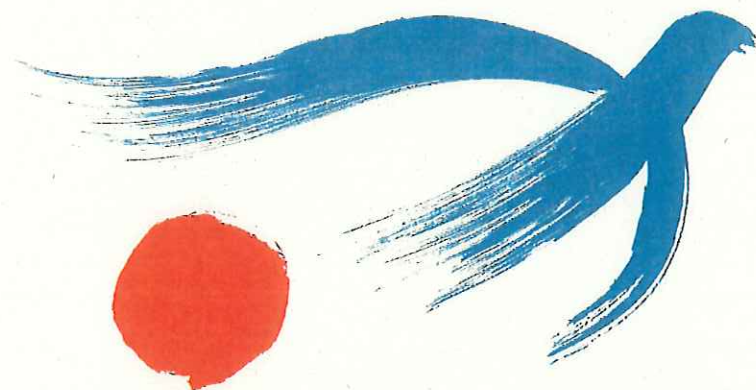
12月：留学情報検索サイト公開（海外大学情報、国内大学留学プログラム情報等）

◎ Facebook 公開 (<https://www.facebook.com/ryugaku.japan>)

イベントレポート、留学経験著名人への取材記事、留学体験談等

(別紙 1)

留学促進キャンペーン ロゴ&スローガン



トビタテ! 留学JAPAN

その経験が、未来の自信。

【ロゴ】

日の丸から飛び立つ鳥は、日本から世界へと飛び立っていく学生たちの象徴。

国鳥であるキジを勢いのある筆タッチで描くことで、
世界へ羽ばたき、経験を積んだ若者たちが、グローバルな視点とリーダーシップで
日本の未来を牽引していく様を表現しています。

【キャンペーン名】

「トビタテ!」という言葉には、“海外へ飛び立つ”、
“今までの自分から飛び立つ” “日本が飛び立つ” という意味がこめられています。
また「留学 JAPAN」は、国が学生たちの留学をオールジャパン体制で応援していく
という志を、親しみやすい印象で表現しています。

【スローガン】

学生たちに、留学という今しかできない貴重な経験を積むことが、
後々、自分たちの将来の自信につながるというメッセージを訴えかけています。